



優勝と五輪出場を決め、仲間やコーチらと笑顔を見せる桑井亜乃選手（後列中央）

桑井（幕別出身）貢献五輪へ 7人制ラグビー女子が出場権

【東京】女子7人制ラグビーのリオデジャネイロ五

輪アジア予選東京大会最終日が29日、秩父宮ラグビー場で行われ、日本代表のサクラセブンスは決勝でカザフスタンを14-7で破り、来年のブラジル・リオ五輪の出場を決めた。幕別町出身の桑井亜乃（あの）選手（26）＝アルカス熊谷＝立正大大学院、中京大、帯農高出ⅡがFWとして先発出場し、勝利に貢献した。（12、15、29面に関連記事）
7人制ラグビーはリオ五輪から正式採用され、日本は男女アベック出場を決めた。ラグビーは15人制男子の日本代表がワールドカップで歴史的な3勝を挙げている。十勝では初のラグビー五輪選手誕生へ期待が高まっている。（松村智裕）